

令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費(「たかつ学生歓迎セミナー」による地域活性化事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		仁	64355	

事業の概要									
事業の概要		高津区に關係のある学生を対象とし、各事業者や市民団体と連携して地域をあげて学生を歓迎するとともに、高津区への理解を深めてもらうセミナーを実施する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費			
		令和3年度	—						
地域の課題と現状		高津区在住・在学の学生であっても、高津区の魅力が十分に伝わっていないため、若い世代に区の魅力を発信する必要がある。また、区内には魅力的な地域事業者や市民団体がおり、活動の裾野を若い世代にまで拡大してもらい、地域内の活性化を図ることができる。コロナ禍で友人・知人や所属コミュニティが欠如した状態が発生している学生にもつながりの機会が求められている。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費							300	220
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源								

計画 (Plan)	
事業の目的	若い世代への区の魅力の発信、地域事業者との連携、学生同士のつながりづくりを通じて、地域内の活性化を図る
今年度の事業の取組内容	区在住・在学の学生を対象し、区の魅力を伝えられるような地域事業者と連携したイベントの開催

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	「たかつ脱出ゲーム」として「高津区」をテーマとした地域密着型のさまざまな情報や話題をもとにクイズを展開し、参加者である中学生～大学生の若者層に、地域のことを知る機会を創出した。また、イベントの中で地域の飲食事業者や地域団体の情報をまとめたリーフレットを配布等により若者層により多くの企業や団体が地域で活動していることを知ってもらい、若者と地域がつながるきっかけづくりを促進した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	目標						
		実績						
	2	目標						
		実績						
3	目標							
	実績							
4	目標							
	実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	若い世代への区の魅力の発信、地域事業者との連携、学生同士のつながりづくりを通じた地域の活性化が求められている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	若い世代との連携による地域の活性化に対するニーズが高い。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	若い世代が地域を知り、関わるきっかけづくりとなった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	役割分担の見直しや事業の効率化などについて改善の可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
当該年度のみ採択事業であり、事業は終了となるが、若い世代との連携による事業への関心は高まっていることから、今後は必要に応じて連携していく。		

令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費(青空かみしばい&和物大道芸 in たかつ)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		仁	64355	

事業の概要									
事業の概要		高津区役所主催のイベント等で、現代の街頭紙芝居及び和物文化の大道芸を実施する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費			
		令和2年度	—						
地域の課題と現状		高津区は子供の人口が比較的多い割には、おもに溝の駅近隣エリアは地方から出てきたマンションで暮らす子育て世帯が多く、母親の子育てならぬ孤育ての問題を抱えている。また一方で老朽化したマンションや戸建てには独居老人の孤立化も進みつつある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費					300	203	300	191
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源					300	203	300	191

計画 (Plan)	
事業の目的	地域住民相互のつながりの希薄化が進む中で、多世代が参加できる場が重要視されている。そこで、現代の街頭紙芝居及び継承者が少なくなっている和物文化の大道芸を、高津区役所主催のイベントで実施することにより、子育て世代からシニア世代までの多世代が交流できる場をつくり、新たなつながりを生み出すとともに地域活性化を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	定期的開催される「高津さんの市」や区の主催イベントに合わせて同時に「青空かみしばい」という地域住民とプロ紙芝居師による紙芝居セッションを開催する。紙芝居は障がいのあるなし、外国籍など、あらゆる違いを超え自己表現できることから、観客は演者の個性を知り親しみを持ち、あらたなつながりを生み出す。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		令和3年度は大部分の期間が緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の含まれ、新型コロナウイルスの影響を受けることになった。そのような中でも橋フェス、子ども夢パークのイベントに参加した。パフォーマンスを行うことでイベントの参加者が笑顔になるところを見るとイベントの必要性を感じた。またコロナ渦でのイベントごとにソーシャルディスタンス等の対策を考えてイベントを実施しなくてはならない等、イベント開催の難しさも同時に知った。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	成果指標	参加イベント全4回の来場者数	目標			800	600	人	
				実績			500	400		
	2			目標						
				実績						
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の影響により人と人とのかかわりが希薄になりつつある。未だに人が集まるイベントが少ない状況がある。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	多くの人(多世代・障害有無・多国籍)を結びつけるという点でニーズはあると考えている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	全2回の開催にも関わらず、目標の半数以上の成果を上げているため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	イベントの開催後に都度、反省会を実施することにより問題点を解決しているため。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
紙芝居及び和物大道芸は多世代を結びつける重要なツールである。また紙芝居は内容によって様々な方の興味・関心を引くことができるため今後も事業を継続していく。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	市民提案型協働事業「高津せせらぎプレーパークプロジェクト」			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		大橋	64813	

事業の概要									
事業の概要		多摩川河川敷のせせらぎと親子広場で、子どもが思い切り遊べる場や多摩川の自然に親しめる場などをつくることを目的にプレーパークづくりを行い、大人が子どもを見守ることでこれらの場を創出する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域課題対応その他事業費				
		令和2年度							
地域の課題と現状		子どもの健全な成長には自由に思い切り遊べる場が必要だが区内には広い公園などが少なく、また、地域に多摩川という魅力ある自然があるものの水難事故の危険から子どもたちだけで自由に親しむ機会が少ない。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		事業費		事業費		予算額	決算額	予算額	決算額
財源 内訳	国庫支出金					300	299	855	617
	市債								
	その他特財								
	一般財源					300	299	855	617

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもが思い切り遊べる場や多摩川の自然に親しめる場などをつくること。
今年度の事業の取組内容	多摩川河川敷のせせらぎと親子広場でプレーパークを実施するとともに、水辺で自然観察イベントを開催する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> プレーパークを3回開催した(10/10:参加者65人、11/21:参加者76人、12/5:参加者89人)。 水辺で自然観察イベントを1回開催した(8/22:参加者59人)。 新型コロナウイルス感染防止のため開催できなかった3回もプレーパークの広報活動、見守り活動を行ったが、その中でも、子どもが主体的に遊びを企画して後日実施するなど、事業目的に寄与することができた。 								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	プレーパーク等の開催回数	目標			6	6	回
				実績			6	3	
	2			目標					回
				実績					
				目標					
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	少子化が進む中、地域全体で子育てを支援する体制の構築が必要である。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
<small>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子育て支援の一環として、子どもの居場所づくりも必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	緊急事態宣言の発令中、まん延防止等重点措置の適用中などの期間は、プレーパークを開催する代わりに広報活動を充実させた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	本事業は市民提案型協働事業であるため、提案団体との役割分担の見直しなどを行い、改善を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 本事業は市民提案型協働事業であるため市民団体からの提案を受けて実施するものだが、令和3年度も提案があり、採択されたため、引き続き実施する。ただし、市民提案型協働事業は、同一事業で3年を超えるものは提案できないので、それ以降の展開を視野に入れつつ見直し・改善を行う。		

令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	《川崎市地域文化財》乙女文楽で地域への愛着と交流を生み出すプロジェクト			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域ケア推進課		吉田	64814	

事業の概要										
事業の概要		川崎市で誕生したひとみ座乙女文楽は地元での伝承芸能に力を入れている。市民に根付いた伝統芸能のなることを目的として、小学校でのワークショップの開催や地域の馴染みのある場所での交流公演を開催することで、多世代交流の場を広げ、地元への愛着や誇りも持ってもらうことを進めている。								
実施期間		事業開始年度 令和2年度		事業終了年度		予算中事業		地域課題対応その他事業費		
地域の課題と現状		高津区内では転入者が増加に伴い区内の人口が増加していることにより、新旧住民の乖離等が懸念されている。地域で伝承されている地域芸能を通じて多世代交流の場を広めることにより、地元への愛着と誇りを持ってもらう。								
予決算 (単位:千円)	年度	財源内訳	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
			事業費				予算額	決算額	予算額	決算額
			国庫支出金				926	926	938	938
			市債 その他特材 一般財源				926	926	938	938

計画 (Plan)	
事業の目的	長年高津区に住む高齢者をはじめとする区民と、転入者とその子どもたちなど区民が川崎市地域文化財「乙女文楽」の交流公演等を通じて地元への愛着と誇りを持ってもらう
今年度の事業の取組内容	小学校でのワークショップ、高津区内での地域施設での交流公演の開催。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		小学校でのワークショップ開催(久本小学校、末長小学校、坂戸小学校、上作延小学校) 交流公演(高津区役所、大蓮寺、澁谷農園)								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	小学校でのワークショップ	目標			8回	8回		回
				実績			8回	8回		
	2	活動指標	地域施設での交流公演	目標			3回	3回		回
				実績			3回	3回		
				目標						
			実績							
			目標							
			実績							

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		区内の転入者の増加に伴い、新旧住民の乖離が懸念される。子ども、高齢者を始め多く区民が共に交流を深める機会が求められている。		
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 3年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		体験者を舞台にあげて人形装着や音楽を体験してもらう等体験時間を充実させた。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	身近な地域芸能に触れる機会は有効である。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	川崎市地域文化財である「乙女文楽」に初めて触れる区民が多く、地元への興味・愛着を持つきっかけとなったと考えられる。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある		b
	評価の理由	より身近な地域施設での開催を進め、伝統芸能を通じての世代交流をさらに深めることができる公演内容などの検討を進めなど、地域での公演が継続的に定着していく必要がある。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	本事業は市民提案型協働事業であるため市民団体からの提案を受けて実施するものがあるが、令和4年度も提案があり、採択されたため、引き続き実施する。 継続実施をしていくことにより、多くの区民へ伝統芸能を伝えていくことやより身近な地域施設での公演開催することで、継続公演の実現。伝統芸能を通じての多世代交流や地元への愛着と誇りを感じてもらいことで、地元愛を育てていく。

令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	15	高津区地域課題対応事業外部評価事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		まちづくり推進部企画課		桐ヶ谷	64122	

事業の概要									
事業の概要		高津区地域課題対応事業の執行にあたり、外部評価委員(学識経験者)による外部の視点を加えた評価を行うことで、より区民のニーズを反映し、市民協働、職員の意識改革などを推進させ、事業の透明性の向上を図る。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費			
		平成18年度	—						
地域の課題と現状		地域課題対応事業について、外部の視点による評価を行い、より効果的・効率的に事業を実施し、地域の課題解決を図っていく必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	1,032	1,031	1,043	839	655	359	645
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,032	1,031	1,043	839	655	359	645	50

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区地域課題対応事業の執行にあたり、外部の視点を加えた評価を行うことにより、より区民のニーズを反映し、市民協働、職員の意識改革などを推進させ、事業の透明性の向上を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	総合計画に基づく地域課題解決に向けた取組について、高津区地域課題対応事業外部評価懇談会を開催し、専門的見識を有する外部の者から俯瞰的視点に立った助言・提案を受ける。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	高津区地域課題対応事業外部評価懇談会を1回開催し、本事業の在り方について有識者から助言・提案を受けた。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	外部評価実施事業数	目標	6	4			事業
				実績	6	4			
	2	活動指標	高津区地域課題対応事業外部評価懇談会開催回数	目標	4	3	1	1	回
				実績	4	3	2	1	
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	地域課題は複雑化しており、課題の把握においては、幅広く細かい意見聴取が必要となっている。地域課題の解決に向けては対応段階では行政だけではなく、官民協働や民による対応が必要となっている。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 3 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	令和3年度: 令和2年度の見直し及び地域課題の解決に向けて対応段階では行政だけではなく、官民協働や民による対応が必要となっている社会情勢を踏まえて、現行の外部評価懇談会は廃止するとともに、これまでの外部評価懇談会で得られた知見やアイデア等についてテーマを絞って深堀をすることで、地域課題解決や第4期実行計画の策定に生かしていくこととする。 令和2年度: 「長期的見地からの評価」・「未来志向の対話形式」・「総合計画への連携」の3点を軸として評価の進め方を見直し		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	b
	評価の理由	各地域課題対応事業の評価は毎年、全庁的な評価手続きとして別途実施しているため、個別事業を評価する本事業に対するニーズは薄れている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	令和3年度は、本事業の在り方について有識者からの助言・提案を踏まえて議論し、より効果的な地域課題の把握・解決に向け、令和4年度以降の本事業の廃止を実施できたため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	懇談会としては廃止となるため、見直しの要素はない。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 現行の外部評価懇談会は廃止するとともに、これまでの外部評価懇談会で得られた知見やアイデア等について、地域デザイン会議等を活用しながら、テーマを絞って深堀をすることで、地域課題解決や第4期実行計画の策定に生かしていくものとする。

令和3年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	25	高津区区制50周年記念事業関連事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		まちづくり推進部企画課		堤	64121	

事業の概要									
事業の概要		令和4年度に高津区制50周年を迎えるにあたってロゴの作成等、区民参加型ワークショップ等令和3年度中に必要な準備を行う							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業			
		令和3年度	—						
地域の課題と現状		周年事業を周知するため、前年度より準備を行っていく必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費								
財源内訳	国庫支出金							1,441	1,439
	市債								
	その他特財 一般財源							1,441	1,439

計画 (Plan)	
事業の目的	区制50周年を区民に向けて周知することで区への愛着を深める契機とする。
今年度の事業の取組内容	周知用の動画及びロゴを作成する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		動画及びロゴ制作のため、制作物検討ワークショップを一回開催した。 ワークショップでの検討内容を基に周知用動画5本及び周知用ロゴ1種を作成し、YouTube掲載等を通じて各所で普及啓発につなげた。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	制作物検討ワークショップの開催	目標				1	回
				実績				1	
	2	成果指標	周知用動画の作成	目標				3	本
				実績				5	
3	成果指標	周知用ロゴの作成	目標				1	個	
			実績				1		
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		令和4年度に高津区制50周年を迎えるにあたり、多様な主体と連携しながら、区民のまちへの愛着や区民であることへの誇りを喚起していくためにも必要である。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民のまちへの愛着や区民であることへの誇りを喚起していくためにも必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	周知用の動画・ロゴの活用により、各所で区民への周知広報につながった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	高津区政50周年を迎える令和4年度に向けて、作成した成果物の活用方法の検討など見直しを行い、改善を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
高津区政50周年を迎える令和4年度に向けて、作成した動画やロゴを使ってより一層の普及啓発を行っていく。また、区内の各種事業と調整の上50周年記念事業として連携し、啓発につなげていく。		